



News Release

2023年11月30日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

大掃除は「整理・整頓・セーフティ」！ ～「シュレッダー」「掃除機」「脚立・はしご」の気を付けるポイント～

1. 関東甲信越地方のシュレッダーや掃除機、脚立・はしご事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2018年度から2022年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、シュレッダーや掃除機^{※2}、脚立・はしごの事故は125件ありました。シュレッダーや掃除機、脚立・はしごの事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 本資料では、掃除機に掃除機用のバッテリーも含めています。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2018年度			2	3		11	6		1		23
	(内数)火災事故			(1)			(4)	(2)		(1)		(8)
	2019年度	1		2	7	4	17	5	1			37
	(内数)火災事故			(1)	(2)	(3)	(10)	(3)				(19)
	2020年度	1		1	3	3	6	7				21
	(内数)火災事故	(1)		(1)	(1)	(1)	(4)	(2)				(10)
	2021年度	1		1	4	4	6	6	1	1		24
	(内数)火災事故	(1)		(1)	(4)	(4)	(6)	(4)				(20)
	2022年度	2		1	2	1	9	5				20
(内数)火災事故	(1)		(1)	(1)	(1)	(7)	(5)				(16)	
合計	5	0	7	19	12	49	29	2	2	0	125	
(内数)火災事故	(3)	(0)	(5)	(8)	(9)	(31)	(16)	(0)	(1)	(0)	(73)	

表 2. 被害状況別事故発生件数

			茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡											0	
		(内数)火災事故												(0)
		重傷				4	2	7	8	1	1			23
		(内数)火災事故												(0)
		軽傷	1		1	3	1	11	4	1				22
	(内数)火災事故					(1)	(3)	(1)					(5)	
	物的被害	拡大被害	3		4	6	5	21	11			1		51
		(内数)火災事故	(3)		(4)	(6)	(4)	(18)	(10)			(1)		(46)
		製品破損	1		2	6	4	10	6					29
		(内数)火災事故			(1)	(2)	(4)	(10)	(5)					(22)
被害なし													0	
(内数)火災事故													(0)	
合計			5	0	7	19	12	49	29	2	2	0	125	
(内数)火災事故			(3)	(0)	(5)	(8)	(9)	(31)	(16)	(0)	(1)	(0)	(73)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの				3	1	6	4				14
	B 製品および使い方に問題があったもの			3	2	1	1					7
	C 経年劣化によるもの											0
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1			2	1	6	5				15
	小計	1	0	3	7	3	13	9	0	0	0	36
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの											0
	E 誤使用や不注意によるもの	1			5	2	9	7	1	1		26
	F その他製品に起因しないもの	1		1	5	5	12	7	1			32
	小計	2	0	1	10	7	21	14	2	1	0	58
その他	G 原因不明なもの	1		2	2	1	11	4		1		22
	H 調査中のもの	1		1		1	4	2				9
	小計	2	0	3	2	2	15	6	0	1	0	31
合計		5	0	7	19	12	49	29	2	2	0	125

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① シュレッダーの事故事例

・ 2018年12月、東京都、重傷

(事故内容)

シュレッダーで小冊子を細断中に左手指が巻き込まれ、負傷した。

(事故原因)

使用者が紙詰まりした小冊子を左手で押し込もうとした際、小冊子に指を挟まれ、その状態で小冊子とともに指が用紙投入口に引き込まれたものと推定される。

なお、シュレッダーの用紙投入口付近には、「投入口に指を近づけない。」「無理に押し込まない。指が紙に引き込まれてけがをする恐れがある。」旨、記載され

た警告ラベルが貼付されている。

② 掃除機の事故事例

- ・ 2022年7月、東京都、製品破損

(事故内容)

掃除機を使用中、異臭がしたため確認すると、掃除機を溶融する火災が発生していた。

(事故原因)

パワーヘッドのプーリー部及び吸口モーター一部に髪の毛やほこりが堆積した状態で使用したため、モーターに過負荷が加わり、異常発熱してヘッド部の樹脂製外郭が溶融したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「焦げ臭いにおいがする際は直ちに使用を中止する。」旨、記載されており、ヘッド部の手入れの仕方が文章及びイラストで記載されている。

③ 脚立・はしごの事故事例

- ・ 2018年12月、埼玉県、重傷

(事故内容)

脚立（はしご兼用）をはしごとして使用中、転落し、負傷した。

(事故原因)

使用者が一人ではしご状態での作業を行ったため、バランスを崩して転倒し、事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「はしごとして使うときは、作業をしない。」旨、取扱説明書及び本体警告表示には、「はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支える。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，望月，田島

電話：03-3481-1820